

宮崎県の口蹄疫被害に対する支援活動について

宮崎県において今年4月に発生した口蹄疫に対して、畜産農家はもとより、宮崎県、JA宮崎経済連、被災地の自治体組織、そしてあらゆる農政関係者が必死に終息させようと努力をしているところですが、未だ先の見えな
い深刻な状況が続いています。

また、東国原知事が非常事態宣言を発令して以来、この問題は宮崎県だけではなく日本各地に経済的影響が広がりました。

更には、数多い宮崎県産品についての風評被害も増えており、「何の問題もない」にもかかわらず極端な買い控えが行われる事態となっており、このままでは、宮崎県の全産業が破綻してしまうことも考えられます。

弊社は、このような状況の中、『街づくりカンパニー』を標榜する企業としてグループを挙げて宮崎県への支援活動を進めていかなければならないと考えています。そこで、微力ですが3つの支援活動に取り組んでいきます。

- ①全事業部において積極的に宮崎県産品の仕入れを行い、宮崎県の畜産業および農業の支援を行います。
- ②全店舗においてレジ横に募金箱を設置して、来店のお客様に対して義援金受付活動を行います。ご協力頂いた募金全額を宮崎県口蹄疫被害義援金に振込いたします。
- ③アレッタ宮崎山形屋店における売上の収益から、6月22日～7月20日までの期間中に来店されたお客様1名につき100円を宮崎県口蹄疫被害義援金に振込いたします。(目標金額 150万円)

この“最大の危機”を一日でも早く乗り越えて、宮崎県の全産業が復興し、新しい宮崎をアピールしていけるよう支援活動を進めていきます。

ジャスマックホテルズ 代表取締役社長 葛和 伸隆

葛和伸隆